

## 教育学部紀要の発刊にあたって

教育学部長

勝 美 芳 雄

平成31（2019）年4月に発足した帝塚山大学教育学部が、「帝塚山大学教育学部紀要」を発刊する運びとなりました。発足初年度から学部の研究成果を公表する紀要を発刊できることは、学部にかかわる者にとって大きな喜びです。ここまで発刊に携わって頂いた方々に深く感謝いたします。

さて、本学部は、平成21（2009）年度に帝塚山大学現代生活学部の新設された「こども学科」を改組し誕生しました。したがって、これまでの研究成果は、現代生活学部紀要（2010年2月発行・第6号～2019年2月発行・第15号）で公表してきました。そこでの「こども学科」所属の教員による論文の掲載数は44編あり、これまでの研究活動の活発さがわかります。

改組後も、これからの保育、教育、そして教員養成に関わる分野での研究を進め、それを基盤にした学部教育を展開しなければなりません。そのために、今回から発刊する紀要では、新たに次の3点を盛り込みました。

- 教育分野の研究成果をより広く公表できるように、掲載する内容を「論文」及び「実践報告」とする。
- 帝塚山学園内の教育連携に資するために、帝塚山中・高等学校、帝塚山小学校、及び帝塚山幼稚園の教員の著作を掲載する。
- 教育学部の研究成果をさらに広く公表するために、紀要をオンラインジャーナルにする。

本創刊号には、論文8編（英語論文1編、小学校と大学の共同研究1編を含む）と、実践報告3編（小学校と大学の共同研究1編を含む）を掲載することができました。これらの内容からは、教育学部のこれからの研究の広がりが予感できます。今後、本紀要にかかわる方々の研究がますます発展することを願い、発刊の言葉と致します。